

5 環境教育・環境学習の推進

5-1 多様な環境教育・環境学習の推進

1 環境教育の推進体制(循環型社会推進課)

(1)環境教育の推進指針

環境教育の目的は、環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度及び環境問題解決のための能力を育成することにあります。

県民すべての世代にわたる体系的・総合的な環境教育を推進するため、平成2年9月に「環境ふれあい実践活動推進指針策定委員会」を設置し、平成3年3月に「環境ふれあい実践活動推進指針」をとりまとめました。

行政、学校、企業、各種団体等が人の活動と環境容量との調和を図り、自主的な実践活動が行えるよう学習の機会、機材、指導者、拠点施設・設備等の各基盤を整備していきます。

(2)環境教育の推進体制

本県では、各部局にわたり様々な環境教育事業を展開しています。その体制と主な実施内容は右表のとおりです。

2 環境教育の各種施策

(1)環境科学研究所における環境教室等(森林環境総務課)

環境科学研究所の環境教育部門では、環境問題を地球規模で考えたり、身近なことから実践することの大切さを学習する「環境教室」、「環境体験講座」、「環境映画会」、「身近な環境調査」、「地球環境観察会」や、

森林環境部

森林環境総務課	「環境日本一やまなし」の確立に必要な普及啓発 「山の日」啓発活動推進
循環型社会推進課	環境日本一やまなしづくり実践活動の推進
	やまなしクリーンキャンペーンの展開
	エコドライブ運動等各種普及啓発 ごみの減量化、リサイクル等の推進
大気水質保全課	大気・水質保全等公害防止に係る普及啓発
みどり自然課	自然保護や緑化推進等に係る普及啓発 「ハヶ岳環境と文化の村」の運営
森林整備課	森林整備、森林・山村地域の活性化、森林災害予防の普及啓発
林業振興課	植樹運動、林業体験等を通じた林業普及
県有林課	「森林文化の森」の整備と利用促進
環境科学研究所	環境教育事業の実施 指導者の育成等
森林総合研究所	環境教育に関する調査・研究 森の教室等の実施

教育庁

義務教育課	地球を守る！小中学校「エコ活動」推進キャンペーンの実施
社会教育課	高校生やまなしネイチャー体験事業の実施

その他の部局

県民生活課	省エネルギー、クリーンエネルギーの普及啓発 まなびネットワークシステムの運営
各地域振興局 林務環境部	地域における環境保全活動の推進
企業局電気課	クリーンエネルギー学習講座等の実施

県の環境教育推進体制と主な実施内容(平成18年3月現在)

「環境写真展」等の企画展示など、広範に環境教育事業を展開しています。

事業名	H17実績	備 考
環境教室	団体を対象として随時開催	
やまなし環境映画会	8/13～14	・優れた環境映画の上映
環境体験講座	3回(各1～2日間)	・体験活動を取り入れながら、身のまわりのものを題材とした内容で開催
身近な環境調査	102校参加 (小・中学校)	・サクラの開花調査
地域環境観察会	3回	・地域の身近な自然などの観察会
環境科学講座	1回	・科学的なデータや知見を取り入れ、わかりやすい内容で開催
企画展示	4/23～6/26 「動物写真展」	
	7/9～9/11 「富士山・火山写真展」	
	9/24～11/20 「きのこ写真展」	

環境教育事業の概要(平成17年度)

(2)体験型環境学習の推進(交流エコ教室ほか)(循環型社会推進課)

こどもエコクラブへの支援

ア 目的

次代を担う子どもたちが地域において楽しく自発的に環境学習及び環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」の活動を支援し、その内容充実を図る。

イ 県内の加入状況(平成18年3月31日現在)

・クラブ数...29 ・会員数...873人 (全国:クラブ数...約4,000 会員数...約110,000人)

ウ 事業内容

交流エコ教室

こどもエコクラブのメンバーやサポーター、一般の子どもたちとその保護者が交流を深めるとともに、自然の中で各種の体験を通して、今後の環境保全活動の一層の促進を図る。

平成17年8月6日(土) 本栖湖レストハウス、本栖湖、青木ヶ原樹海

参加者 こどもエコクラブメンバー及びサポーター、一般の子どもたちとその保護者 53名

子どもエコクラブ全国フェスティバル

「子どもエコクラブ全国フェスティバル」大会に県内の「こどもエコクラブ」3クラブが、同フェスティバルに展示する壁新聞を提出した。

(3)学校林活用推進事業(みどり自然課)

学校週5日制の実施や総合的な学習の時間の創設に伴い、森林の教育的利用に対するニーズが高まってきている中で、児童・生徒の森林環境教育の場として学校林を活用するために必要な初期段階での環境整備に対して助成をしています。

(4)どんぐりクラブ育成事業(みどり自然課)

この事業は、小学生以下の子ども達に、山や森、公園に落ちているどんぐりを拾う活動を通じて、緑に親しみ、森林を大切にすることを育んでもらうことを目的に実施しています。また、集まったどんぐりは環境教育等への活用を図るため、県緑化センターで養成し、希望した小中学校や公園等に配付しています。

平成17年度は728人の子ども達が会員となり、集めたどんぐりの数に応じてムラサキシキブとヤマボウシを配付しました。

(5)活力ある山村づくり(森林整備課)

森林の総合的な利用や都市と山村との交流、森林整備パートナーの育成、子供たち等への森林環境教育を通じて、森林・林業に対する理解を深め、森林・山村地域の活性化を推進するために平成 17 年度は以下の事業を実施しました。

森林環境教育利用促進対策事業

子供たちが体験活動に利用する森林環境教育の場、市民参加や後継者育成に資する林業体験学習の場となる森林・施設の整備を支援します。平成 17 年度は南アルプス市が、伊奈ヶ湖周辺において、森林学習歩道・観察施設設置等の整備を実施しました。

環境保全林再整備事業

県下 26 箇所の環境保全林整備事業実施箇所のうち、人の入り込みが多い箇所において、森林整備を行う企業・団体を募集し、研修会の開催や資機材の配備等の活動支援を通じて、森林整備のパートナーとして育成します。平成 17 年度は南都留郡西桂町の三ッ峠自然環境保全林において富士急行株式会社が、南巨摩郡増穂町の奥仙重生活環境保全林において生活協同組合市民生協やまなしが、北杜市武川町の精進ヶ滝生活環境保全林においてサントリー株式会社白州蒸留所水工場がそれぞれ除伐等の森林整備を実施しました。

(6)環境教育推進事業(義務教育課)

小中学校エコ活動推進キャンペーン

(事業概要)11 月を環境教育、環境活動の強化月間とし、全公立小中学校で環境教育、環境活動の見直しや各学校が行っている環境活動の意義を再確認します。また、ホームページを開設し、小中学校の環境教育に役立つ情報を発信したり、互いの活動などを交流したりする場とします。

県の取り組み

- ・各学校に文書を送付し、環境教育、環境活動の見直しや一層の充実を呼びかけます。
- ・小中学校のための環境教育のホームページを開設し、各学校の取組や関連事業の紹介、環境教育の進め方などの情報発信を行います。

各小中学校の取り組み

- ・持続可能な社会をどうつくっていくかという視点から、各学校の環境教育や環境活動の見直しを行うとともに、活動の意義を再確認する。(学級活動、全校集会、学校通信などを活用)
- ・各学校の環境活動を簡単な文章でまとめホームページに掲載する。
- ・ホームページを通じ、情報の発信、交流を行う。

(7)高校生やまなしネイチャー体験(社会教育課)

目的

未来を拓く教育の一環として、広い視野と豊かな国際感覚を持ち、自然に恵まれた郷土山梨を愛する青少年を育成するために、海外からの留学生と交流し、環境問題を体験的に学ぶことを通して、地域づくりに貢献できる若いリーダーの養成を図る。

経緯

平成 6 年度より事業を開始し、平成 17 年度で 13 年目を迎えた。

平成 17 年度の実施内容

対象 県内在住の高校生(参加者 41 名)

実施日 平成 17 年 8 月 9 日～8 月 12 日 3 泊 4 日

学習内容 ・ 環境学習(自然に親しみ、環境問題を理解するための体験活動を行った。)
 ・ 国際理解(外国人留学生との交流を行った。)

(8)環境アドバイザーの派遣(循環型社会推進課)

目的

県内の民間団体等が主催する環境保全に関する研修会等に「環境アドバイザー」を派遣することにより、地域における環境保全意識の高揚を図るとともに、地域の環境保全活動に資することを目的としている。

氏名	役職等	氏名	役職等
植原 彰	(財)日本自然保護協会・自然観察指導員	田中 収	大月短期大学名誉教授
近藤 信行	作家、日本高山植物保護協会副会長	口野 道男	山梨地学会顧問
山本 紘治	山梨科学アカデミー会員 高校互助会理事長	飯窪さかえ	山梨県生活学校連絡会会長
北村 真一	山梨大学大学院教授	中川 雄三	動物写真家、環境省自然公園指導員
平井 成子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会代表	中村 司	山梨大学名誉教授
中込 司郎	山梨県植物研究会会長	依田 正直	日本野鳥の会甲府支部長
流石 皇甫	美花里自然教室代表	葉袋 英輔	(有)ミナイ商店・代表取締役
伊藤 真理	アーティスト、みどりの生活クリエイター	渡辺 通人	甲州昆虫同好会会長、環境省自然公園指導員
斉藤 一紀	(財)日本鳥類保護連盟専門委員	瀬田 實	甲州昆虫同好会会員
藤巻 真史	(株)田丸・代表取締役社長	山坂 右内	(株)メイキョー技術顧問 山梨科学アカデミー会員
鈴木 嘉彦	山梨大学工学部部長	芦澤 公子	NPO法人みどりの学校理事長
黒田 光秀	(株)総合リサイクルセンター黒田・代表取締役	志沢 美香	NPO法人みどりの学校副理事長
伏見 勝	(財)日本自然保護協会・自然観察指導員	向山 邦史	NPO法人みどりの学校理事
鶴田 和彦	(株)横河電機勤務	望月あけみ	NPO法人みどりの学校事務局副理事
内田 勝己	NPO法人みどりの学校理事		

山梨県環境アドバイザー名簿(平成 18 年度)

経費等

ア 環境アドバイザー：県内で活躍されている方で環境保全分野の学識経験者や環境保全活動実践者の中から選任・登録(任期:1 年)

イ 派遣に要する経費：謝金の一定額及び旅費について県が負担(平成 8 年度から)

対象

ア 研修会等の主催者：県内の地域活動グループ、町内会、学校、PTA、その他各種団体など

イ 研修会等の内容：自然保護、ごみ減量、環境美化、省資源・省エネルギー、リサイクル、地球環境問題等に関する講演会、研修会、体験学習、観察会など

ウ 参加者数：概ね 30 名以上(観察会は上限人員あり)

派遣手続き(平成 18 年度現在)

ア 環境アドバイザーの派遣を希望する団体等は、原則として実施の 1 ヶ月前までに「環境アドバイザー派遣申請書」を、団体等の所在地を所轄する林務環境事務所長に提出する。

イ 林務環境事務所長は、申請書を審査し、その採否と派遣するアドバイザーを決定し、団体等に通知。

ウ 団体等は、実施後「環境アドバイザー派遣事業実施報告書」を林務環境事務所長に提出する。

平成 17 年度実績

回数	月日	主催団体	テーマ	アドバイザー	参加人数
1	4月27日	南アルプス市白根地区環境美化員総会	「身近な環境問題」	黒田光秀	97
2	5月21日	ISO自己適合宣言オンブズマン会議	「山梨の公害と環境」	山坂右内	28
3	5月28日	南アルプス市立小笠原小学校第1学年PTA	「身近な環境について考えよう」	植原彰	160
4	5月28日	南アルプス市立小笠原小学校第3学年PTA	「身近な環境について考えよう」	依田正直	150
5	5月28日	南アルプス市立小笠原小学校第4学年PTA	「身近な環境について考えよう」	芦澤公子	150
6	6月17日	中央市立田富小学校PTA	「ガラスビンの中の地球～ものは消えてはなくなるならない」	望月あけみ	960
7	7月1日	大和ハウス㈱山梨支店安全大会	「資源利用、廃棄利用のビッグバン」	黒田光秀	320
8	8月6日	社団法人南アルプス青年会議所	「グリーンスクール2005」	中川雄三	44
9	11月4日	中央市立田富中学校PTA研修会	「地球規模の環境問題と身近な環境活動」	鶴田和彦	60
10	11月9日	山梨県高等学校PTA連合会婦人部	平成17年度高P連婦人部研修会「明日を考える」	飯窪さかえ	200
11	2月10日	甲府保健所管内食生活改善推進員協議会	「山梨県の地球温暖化の現状について」～家庭でできる環境保全の取り組み～	芦澤公子	28
12	2月28日	白根地区消費生活研究会	「もったいないの心」	藤巻眞史	80
13	6月15日	東八代郡教育協議会理科サークル	「地域の自然観察の教材化」	瀬田実	31
14	8月17日	東八代郡教育協議会理科サークル	「地域の自然観察の教材化2」	瀬田実	32
15	9月30日	グループみらい	「持続可能な社会づくりを考える」	鈴木嘉彦	67
16	12月9日	山梨市食生活改善推進委員会	「環境問題とリサイクル」	藤巻眞史	26
17	1月27日	山梨市立山梨北中学校第3学年	「環境問題と私達の暮らし」	鈴木嘉彦	148
18	1月30日	山梨県立日川高等学校	「身近な暮らしの中から考える省エネ」	望月あけみ	142
19	3月2日	笛吹市立境川小学校第2学年PTA	「ストップ！地球温暖化～今日からはじまるエコライフ～」	芦澤公子	102
20	6月17日	上野原市立平和中学校	「いま、わたしたちにできること」	平井成子	18
21	10月16日	第4回おおつきエコフェスタ	「誰でもわかる！地球温暖化問題」	志沢美香	100
22	10月26日	都留市立谷村第二小学校PTA	「今の環境問題について」	黒田光秀	41
23	12月2日	上野原市立秋山中学校	「自分たちの身近な自然の楽しみ方」	中川雄三	17
24	7月23日	特定非営利活動法人富士山クラブ山梨事務所	「富士山の環境問題と取り組むべき問題」	芦澤公子	30
25	11月20日	富士吉田市立明見小学校	「富士北麓の小動物コーナー」	中川雄三	40
26	5月19日	北杜市立泉中学校	「身近な地域の環境を知ろう」	伏見勝	44
27	6月5日	韮崎市宇波円井区自主防災会	「ふるさと円野大地のきびしさ」	田中収	78
28	10月13日	北杜市立小泉小学校	「限られたエネルギーを大切にするには」	志沢美香	36
29	11月6日	韮崎穴山町重久公民館	「日々の暮らしの中の省エネとごみ減らし」	望月あけみ	52
30	11月9日	北杜市立日野春小学校	「八ヶ岳南麓の生き物たち」	大作栄一郎	176
31	11月29日	小淵沢町立小淵沢小学校	「小淵沢エコアップ大作戦」	大作栄一郎	59
32	2月5日	韮崎市小田町小田川自治会	「小田川地区の自然環境と地震防災対策」	口野道男	80
33	6月20日	峡南環境美化保全推進委員会	「ごみを半分に減らす方法」	藤巻眞史	40
34	6月24日	南部町立万沢中学校	「身近な環境を考える」	平井成子	62
35	7月16日	下部地区文化協会自然愛好部	「自然観察会」	依田正直	25
36	10月5日	山梨県立増穂商業高校	「今日から始めるエコライフ」	芦澤公子	128
37	3月21日	増穂町地球温暖化防止地域協議会	私たちをとりまく環境問題「ごみ」	藤巻眞史	30
					3,881

5-2 人材の育成

1 環境科学研究所の取り組み(森林環境総務課)

山梨環境科学カレッジ・カレッジ大学院の実施

山梨県環境科学研究所では、環境問題や環境教育への理解をより一層深めていただくことを目的に、また、将来的には地域の環境活動を推進しうる人材を養成する第一歩となるよう、環境生涯学習プラン「山梨環境科学カレッジ及びカレッジ大学院」を開講しています。平成17年度の実績は次のとおりです。

(1)山梨環境科学カレッジ

種別	内容	講師	実施日	参加者数
指定講座	1) 開講式・環境科学講座 「地域のエネルギー問題と環境保全を考える」	山梨大学大学院教授 小宮山政晴 (独)産業技術総合研究所 チーム長 田原聖隆	5.14	33
	2) やまなし地球環境映画会05	(アース・ビジョン組織委員会共催)	8.13~8.14	33
	3) 地域環境観察「剣丸尾 自然探検」	日本野鳥の会富士山麓支部 中川雄三 宮下義夫 水越文孝	11.27	32
優先講座	1) 富士山五合目自然観察	東邦大学理学部助教授 丸田恵美子	8.7	21
	2) 秋の自然ときのご観察会	森林総合研究所主任研究員 柴田 尚	10.8	13
選択講座	1) 環境体験講座「ネイチャークラフトに挑戦」	都留市宝の里ネイチャーセンター 佐藤 洋 湯原 誠	6.11	18
	2) 環境体験講座「エコ工作に取り組もう」 ～牛乳パックを利用した紙粘土作り	環境教育スタッフ	9.23	5
	3) 企画展示～写真展 動物写真・富士山火山写真展・きのご写真		4.23~11.20	54
	計			209

(2)山梨環境科学カレッジ大学院

種別	内容	講師	実施日	参加者数
開講 指定講座	1) 開講式・環境科学講座 「地域のエネルギー問題と環境保全を考える」	山梨大学大学院教授 小宮山政晴 (独)産業技術総合研究所 チーム長 田原聖隆	5.14	13
基礎講座	1) 人間と環境・富士山の動植物	本郷主幹研究員・環境教育スタッフ	5.21	13
	2) 自然観察会の手法と運営・富士山の地質学的特徴	環境教育スタッフ	5.28	13
専門講座	1) 富士山麓の自然(自然系)	内山・中野・安田研究員	6.18	13
	2) 変化とヒトの健康(健康系)	宇野・柴田研究員	7.2	13
	3) 人と自然の関わり方を考える(地域系)	佐野・杉田・池口研究員	9.17	12
臨地講座	青木ヶ原を訪ねる	環境教育スタッフ	9.3	12
応用講座	1) 自然観察プログラムの実際	富士山五合目自然観察員	7.23	13
	2) 自然観察プログラム作成・模擬実施	環境教育スタッフ	10.15	12
修了式	カレッジ大学院のまとめ	環境教育スタッフ	11.6	12
	計			126

2 森林総合研究所における研修(林業振興課)

林業従事者や後継者、また将来の担い手となる青少年を対象に技術研修を行い、地域林業や森林教育の中核的指導者となるよう人材養成を行っています。平成17年度の実績は次のとおりです。

(1) 専門研修(対象: 県、市町村及び森林組合職員 ほか)

研修教科	内 容	講 師	実施日	日数	参加者数
林業機械	小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	(株)コマツ甲信 小出峰雄	H17.4.27 H17.4.28	2	7
林業機械	林業架線作業主任者免許規定に係る研修	労働安全コンサルタント功刀能文 森林総合研究所職員 齋藤寛 林業専門技術員	H17.5.24~ H17.10.26	15	3
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H17.5.31	1	7
林業機械	草刈り機取り扱い	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H17.5.31	1	6
林業経営	FSC野生生物研修	森林総研研究員・県有林課職員	H17.5.31	1	45
林業機械	伐木造材に係わる特別教育	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員	H17.6.16	1	8
森林計画	森林施業計画	森林整備課計画担当職員	H17.10.4	1	46
森林教育	森林インストラクター入門	森林インストラクター植松光正、仲田貴三	H17.7.25	1	5
森林保護	保安林実務	治山林道課保安林担当職員	H17.6.7	1	46
森林計画	GPSの使い方	峡中林務環境部職員	H17.6.13	1	29
林業機械	はい作業主任者技能講習	労働安全コンサルタント功刀能文 森林総合研究所職員 齋藤寛 林業専門技術員	H17.7.13 H17.7.15	2	2
森林教育	木工作指導者研修(1回目)	家具作家 外崎晃、情報館長 土屋光春、森総研 鈴木泰仁	H17.7.29	1	26
森林教育	森林を知ろう(1回目)	齋藤敬文 ネイチャーゲーム協会 能登貞人	H17.7.27	1	35
森林教育	木工作指導者研修(2回目)	家具作家 外崎晃、情報館長 土屋光春、森総研 鈴木泰仁	H17.8.9	1	23
森林教育	森林を知ろう(2回目)	齋藤敬文 ネイチャーゲーム協会 能登貞人	H17.8.17	1	36
木材加工	木工の基礎	家具作家 外崎晃	H17.10.7	1	5
林業機械	簡易作業路作設体験実習	森林総研 齋藤寛 林業普及指導員	H17.8.11~ H17.9.2	7	15
造林	蜂刺され症状と対策	西岡内科クリニック院長西岡雄一	H17.9.21	1	40
特用林産	野生キノコ鑑定	森林総研 柴田 尚 主任研究員	H17.10.3 10.5~7	4	21
林業機械	修羅による木材搬出	森林総研 齋藤 寛 林業普及指導員	H17.10.21	1	2
森林組合	森林組合の監査	勝俣公認会計事務所 勝俣高明	H17.11.9	1	46
森林保護	野生動物の生態と被害対策	環境科学研究所 動物生態学研究室 吉田洋	H18.1.20	1	45
普及指導	地域よ、バイオマスで発酵(発光)せよ	(社)アルコール協会研究開発部長 齊木隆外	H18.1.27	1	97
計					595

(2)基礎研修(林業教室)(対象:一般県民)

研修教科	内 容	講 師	実施日	参加者数
講演	森林について	森林総合研究所 牧村 隆幸	H17.5.14	20
作業実習	下刈	森林総合研究所 上野梅男 研修指導幹ほか	H17.6.11	21
視察	赤沢自然休養林	木曽森林管理署	H17.7.9	29
作業実習	高性能林業機械	森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H17.9.10	16
作業実習	間伐・枝打ち	森林総合研究所 田中格 主任林業専門技術員	H17.10.8	12
作業実習	シイタケ植菌	森林総合研究所 柴田尚 主任林業専門技術員ほか	H18.2.11	14
講演	森林ボランティア	オイスカ東京本部組織部参事 田中美津江	H18.3.11	18
計				130

(3)技能者養成研修(対象:林業従事者)

研修教科	講 師	実施日	参加者数
小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	(株)前田製作所コマツ甲信事業部 小出峰雄	H17.4.27 H17.4.28	15
林業架線作業主任者免許規定に係わる講習	労働安全コンサルタント 功刀能文 森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H17.5.24 ~ H17.10.26	11
はい作業主任者技能講習	労働安全コンサルタント 功刀能文 森林総合研究所 齋藤寛 林業専門技術員ほか	H17.7.13 H17.7.15	10
計			36